





村上昭夫の生涯について語る岡澤君

あのおとなしい、引つ込み... 思案の昭夫さんをお母さん... 「うちの昭夫は、金火署...」

変身した。ところが、せつかく職を... 得て働いて三、四年たった... 「うたあだ名だったんです...」

とのできない敵を殺さない... 方がいいように、早くこの世... 界がなりますように。その...

「岩手サトリウム」時... 代は、彼よりも半年くらい... 後に結核の病気を得て入院...

んという詩人です。大坪さんは「Ia」とい... う雑誌を主宰していて、そ...

めに絶対に必要だった人と... 出会うのです。そういった... 雑誌を主宰して、そ...

人の作品を批評し、昭夫さ... んの詩が次第に実存とい... うこと目覚めるプロセスを...

をされ、彼はやがてその死... の壁をたじろぐことなく見... 据えて、詩をさらに深めて...

死の壁を通して不動のもの... になっていくわけですが、... ですから、彼の「死の眼鏡」...

詩人としての自己形成期... それぞれの期間に、昭夫... さんは、彼を詩人として育...

●岡澤敏男君略歴... 旧15回生、旧姓小泉。... 盛岡農専卒、釜石南高校...

自己確立期... ところがここで、昭夫さ... んが詩人として確立するた...

今年8月と11月の岩手日... 報紙上社会面に、岩手高校... 物理部の名がスポットライ...

成功で快拳... フロンガスは空気中に放... 出されると、紫外線で塩素...

物理部で実験に使ったの... は車のエアコンなどに使わ... れるフロン12。電子レン...

「昨年以來「超電導」な... どで母校物理部は名を馳せ... ているが、中学応募者の中...

